



ひなまつりのお話（中）



みなさん、こんにちは。

今日は、ひなまつりのお話です。旧暦3月は、現在の4月にあたり、その時期に桃の花が咲くので、桃の節句といわれています。

3月3日のひなまつりには、女の子の健やかな成長を願い、ひな人形を飾り、ごちそうを食べて祝います。

みなさんは、ひなまつりを祝う行事食を知っていますか。ひなまつりのごちそうには、「ちらし寿司」や「ひしもち」などがあります。ちらし寿司には「災いをちらし、これから1年間、毎日幸せに過ごすことができますように」という願いが込められています。また、ひな人形と一緒にかざるひしもちの色は、上から赤、白、緑です。赤は「魔よけと桃の花」の色、白は「清らかさと雪」の色、緑は「健康と新芽」の色で、これから訪れる春を表しています。

昔から伝えられてきたそれぞれの行事食の意味を知り、春を感じながら、今日の給食の「ひしもち」をいただきましょう。